

学校名 久喜市立太田小学校
所在地 埼玉県久喜市吉羽2-16-40
電話 0480-21-0572

1 本校の概要

本校は、「伝統を生かし 未来をつくる 太田小の子どもたち」をスクールプランに掲げ、学校教育目標を、全力でがんばりぬく子〔・考えぬく子・思いやる子・やりぬく子〕と定め、目指す教師像である「信じてやり抜く教師」を胸に、日々教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 図書館ボランティア

太田小学校では「図書館ボランティア」として、保護者有志の方々に、図書委員と一緒に、図書の貸し出しや返却をしにくる児童の対応をしていただいている。そのおかげもあり、図書館での貸し出し・返却が円滑に進み、一日に対応できる件数も増えるため、結果、本を借りることができる児童が増えている。

また、毎週木曜日の業前の時間に朝読書を全クラスで行っているが、図書館ボランティアの方々に決められた日程で「読み聞かせ」をしていただくこともある。今年度はコロナの影響で、2学期に2回～3回となったが、毎週の一人読みと並行して行っている。子供たちの読む力や聞く力、想像する力が身に付くきっかけとなっている。

さらには、昼休みに「ライブライブ」という、希望者に対する読み聞かせも開催していただいている。その他にも図書室の飾りつけや、本の整理等、幅広く学校の読書指導に貢献していただいている。



イ 中央図書館との連携

地域との連携としては、久喜市立中央図書館との連携で「ブックトーク」を行っている。決められた

テーマに関連する本を中央図書館から持ってきていただき、実際にその場で聞くというものである。例えば今年度は、4年生の「ごんぎつね」を学習している真っ最中であったので、作者である新見南吉さんに関してというテーマでブックトークをしていただいた。学習に即した内容で、かつ、本を扱う専門の方からの読み聞かせということで、子供たちも意欲的に話を聞いていた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 図書館ボランティア

図書の貸し出しが増え、本に触れる児童がたくさん増えた。

イ 中央図書館との連携

ブックトークのテーマを各学年の教科の学習内容（例 新見南吉等）との関連を図って設定することにより、学習を深めたり、その後の学習に生かしたりすることができた。

(2) 課題

ア 図書館ボランティア

保護者との関わりということで、定期的な連絡が取りにくく、当番のすれ違い等があった。今後は、図書館ボランティアのリーダーの方と連絡をこまめに取りたい。

イ 中央図書館との連携

今年度はコロナ禍の影響もあり、ブックトークの機会が各学年一回のみとなってしまった。また、実施する環境についても、換気や児童の間隔など、来年度はより念入りに打ち合わせを重ねようと思う。

(3) おわりに

以上の取り組み以外にも、各家庭にお知らせする方法として、「貸し出しについての連絡」を太田小HPに掲載するとともに、自校 YouTube チャンネルに啓発動画を投稿するという方法を取った。今後も、柔軟な発想を大切にし、読書好きな児童の育成を目指して、学校全体で取り組んでいく。